

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用者の多い日、少ない日の差はあるが、個々の特性を把握して、適切なスペースを確保するように努めています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			人数はもちろん、相性も考えて配置をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		対象の幅が広いので支援方法で工夫しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		常勤している人とは話す機会があるが時間制限のある人とは密ではない面があります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		把握していない事も多いので話し合い等、意向のさらなる把握と業務改善に努力していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者委員の評価を受けています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			個々の業務により研修に行ける人と行けない人がいるので、研修に参加した人から情報を共有してもらうようにしています。また今後、一層、参加スタッフを増やせるように努力していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々の観察やスタッフ同士の話し、意見も参考にし支援内容を考え、支援計画に反映しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメントツールを参考にした上に個人の特性を観察し支援内容を考えています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々の利用者の特性、相性を考えプログラムをチームで話し合っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節や行事なども考え、日々の楽しめることを考えています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日・休日・長期休暇それぞれに合わせて利用者人数、相性を考え、スタッフを配置し安心できる環境を整えています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎			個々の特性を把握し、無理強いのないよう配慮し、集団生活の中でも個別支援の出来るようにしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	◎			相性を考え配置し、利用者の近況報告も行い、支援に入っています。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	◎			スタッフの勤務終了時間は同じでないが、話しをする機会を作っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	◎			担当のスタッフより報告してもらい、現場にいたスタッフで話し合い、支援に繋げています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリング時には様々なスタッフに意見をもらい、支援内容に適切であろう見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	◎			基本活動、個別の支援内容を考え、利用者のリズムに合わせています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			個々の相性を考え、スタッフを配置し、話し合いをしているので担当者会議に参加、意見できる人材が数人います。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			日々、確認をとる習慣をつけているが、もれる場合などは連絡(問合せ先)を決めて把握するようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			必要事項を話す場所を決め、即座に連絡できる環境を作っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			情報共有、できている相手と、そうでない相手があり、改善に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			関係機関・事業所と連絡をとりあって情報共有を行うようにしていますが不十分な面もあり、課題として取り組んでいきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			担当者会議などでの話し合いで連携はあるが、それ以外の場面で連携の程度に差がある場合があります。今後、さらに有意義な連携が行えるように努めて行きます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			プレーパークへの参加など外部へ出る機会を蓄けていますが、それが難しい場合もあります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			できる限り参加するようにしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者によっては話す機会がない事も多いが電話連絡をすることもある。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			適宜、面談・相談を実施しています。
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			出来るだけ対応を行っている。支援内容にも反映するようにしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	◎			デイサービス以外での交流の場を設けています。

者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	◎		出来るだけ迅速に対応しています。対応の前にスタッフ同士で話し合い最善策を考えるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	◎		日々の生活を広報により発信し、より理解をしてもらうよう努めています。
	35	個人情報に十分注意しているか	◎		個人情報には特に取り扱いに注意をしています。セキュリティーシステムも導入しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	◎		相手の家庭環境も考えた支援、個々を大切にしたい対応をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		不十分なところがあるので、今後の課題として取り組んでいきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		できるだけ周知するよう話し合いの場面でも報告するようにしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		子どもが不安定にならないように配慮して行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職場で研修する時間を設け、参加できなかったスタッフに後日、伝えています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束についてはその必要性の有無を職員が把握し、対応時の支援内容の関連性も考える計画を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーのある子に対してスタッフ内での連絡把握を徹底しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例を観覧し、その後スタッフ内での話し合いを行っています。